

# 財産区通信



苗木財産区報(第64号) 2023. 1月

## …新年のごあいさつ…

新年明けましておめでとうございます。

区民の皆さまには、健やかな新年をお迎えることと心よりお慶び申し上げます。また、日頃より財産区の活動に温かいご支援、ご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスの発生から3年目となりました。世の中も、いかに感染拡大を抑え、日常を取り戻していくかという大変難しい問題に立ち向かう1年であったように思われます。

活動に際し、コロナ禍というべき大波はあったものの、財産区有林は風水害に見舞われることなく、皆さまの財産でもある山の本々達は、豊かな自然を育みつつ水源を確保し、日々生長を続けています。

区有林は613haの面積を有する山々であり、毎年10ha ずつの整備を行っても1サイクルは60年に及びます。自然環境、そして田畑を潤す水源を守りつつ、苗木財産区は森と共にこの先も末永く存続していくものと考えます。

せんげの森学習林では、平成18年(2006年)からスタートした、苗木小学校5年生による植樹体験が現在も続けられ、木育や自然観察学習など、将来に亘っての更なる発展が期待される大切な活動となっています。

苗木財産区は、地域を支え、未来を担っていく子ども達が夢を育み、一人ひとりが長所を伸ばすことで多様性を尊重していけるよう、これからも新たな時代を切り拓いてまいります。

結びに、区民の皆さまのご健勝とご多幸を心から祈念申し上げまして、年頭のごあいさつとさせていただきます。

2023年 元旦

苗木財産区議長  
熊澤 良平

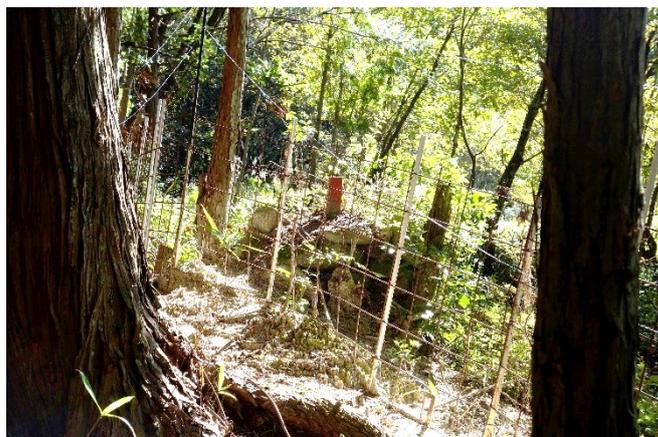


## 第2回巡視について

今年度2回目の巡視を10月17日(月)に予定していましたが、体調不良者が相次いだことにより、28日(金)の予備日を含めて実施することができませんでした。

10月20日(木)に四役と事務局、巡視員で行程の事前確認を行っており、その際に確認した境界内に設置された電気柵は、その後適正な設置状況に改善していただいています。

今回の巡視で予定していた場所は、第3回の巡視と合わせて実施するものとしています。



(境界内に設置された電気柵)

## 第4回全員協議会を行いました

11月16日(水)に第4回全員協議会を行い、第2回定例会に向けての事前協議と、新斎場建設候補地撤退に関する説明会、リニア送電線鉄塔敷建設工事計画に関する補償内容の説明会をはじめ、後述する植樹体験学習の実施に関する協議などを行いました。

今年度も残り僅かとなり、抱えるいくつかの大きな課題を解決すべく、引き続きしっかりと協議を行っていきたいと考えます。



## 令和3年度事業会計決算を認定

財産区議会定例会を12月15日(木)に開会し、「令和3年度苗木財産区事業会計決算の認定」が議題にあがり、満場一致で認定されました。

## 令和3年度苗木財産区事業会計決算

【歳入の部】 (単位:円)

款	予算現額	収入済額
財産収入	1,817,000	1,813,622
繰入金	561,000	0
繰越金	5,000,000	7,340,163
諸収入	257,000	352,967
合計	7,635,000	9,506,752

【歳出の部】 (単位:円)

款	予算現額	支出済額
議会費	1,941,000	1,600,004
総務費	1,229,000	1,090,082
財産費	4,465,000	1,715,958
合計	7,635,000	4,406,044

歳入歳出差引残額 5,100,708 円

【財産区基金】

令和2年度末基金高 58,894,023 円

令和3年度末基金高 58,917,599 円

差引額 23,576 円増

## 苗木小学校5年生(50名)による 植樹体験学習

コロナウイルス感染症の影響で、2年間に亘り実施することができなかった植樹体験学習を、今年は11月21日(月)に行うことができました。

今年からは、過去の実施場所を再整備してのReスタートとなります。

当日は、前夜からの雨もあがり少し汗ばむような日差しの下、会場となった「せんげの森」に子ども達の元気な声が響きました。

午前中は、森に親しむ学習と題して現地の自然環境を利用しながら、岐阜県立森林文化アカデミーの講師や学生(9名)の発案による模擬林業体験です。

「ラダーで木登り(枝打ち)」・「丸太切り(造材)」・「木の運搬(運材)」といった3つのプログラムでしたが、伐った丸太の重さを当てたり、木材を引っ張るタイムを競うなど、楽しみながら体験してもらうことができました。

午後の植樹体験で用いる樹は、この地域に所縁の深いものを植えよう!ということで、木曾五木(アスナロ、サワラ、ヒノキ、ネズコ、コウヤマキ)を選び、3人1組のグループに1本ずつの樹を植えて貰いました。

苗はそれほど大きくなかったものの、穴掘り、肥料入れ、苗入れ、土被せまでを行う作業は、慣れない「くわ」の使用や肥料運びなど、子ども達には大変な作業の連続でしたが、財産区議員と一緒に非常な熱心に取り組んでいただけました。

併せて、木曾五木の見分け方(葉の裏の気孔の違い)も学びましたが、これはちょっぴり難しかったかもしれませんね。

この日に行った様々な体験活動を通じ、子ども達には「森のお世話をする仕事」の一端を体験していただくことができたと感じています。

決して十分な時間ではなかったかもしれませんが、「今日この場所に、自分の手で一本の樹を植えた」ことは、この先もずっとかけがえのない体験として子ども達の記憶に残って欲しいと考えています。

財産区としましても、今後の体験学習をより良い内容で実施すべく、一層の努力と高い問題意識を持って臨まなければならないと、改めて認識する機会にすることができた1日でした。



(発行)

中津川市苗木7516番地の1  
0573-66-1301

中津川市苗木財産区

